

## 次号予告

特集 平成16年度データ解析コンペティション：  
加工食品 POS データとクレジット・カード利用履歴の分析  
店舗内ブランド間競争を考慮したメーカーのためのブランド評価

.....中山雄司 (大阪府立大学), 他  
支払い方法選択行動分析による“高価値”顧客の発掘 .....山口景子 (東京大学), 他  
ターゲット顧客を識別するためのクレジット購買履歴データを用いたパターン分析  
.....中原孝信 (大阪府立大学), 他  
データ圧縮とワイルドカードを利用した未払い履歴データに対するパターン分析  
.....米田知弘 (大阪府立大学), 他  
クレジット・カード利用顧客のデフォルト予兆発見分析 .....矢野順子 (NTT データ), 他

### 編集後記

●本号が発行される約3ヶ月前に平成17年国勢調査が実施された。日本では、国民のプライバシー意識の高まりから、平成17年国勢調査の実施にはいろいろ困難があったと報告されている。米国では19世紀後半の国勢調査のデータ処理の問題を克服するためにパンチカード機械が発明され、後のコンピュータへと発展した。プライバシー意識の高まりは新しい発明や価値の発見のきっかけとなるのであろうか。  
●その国勢調査が記憶に新しい今月は人口問題特集を組んだ。日本の人口は本年がピークで、今後は減少に転じるのだそうである。人口の多少が良いのか悪いの

かという短絡的な議論はさておいて、OR屋には、客観的に状況を把握し、人口というもののメカニズムを分析し、冷静に問題を解決することが望まれる。

●人口の問題は教育の問題に直結する。子供の数は年々減少している。労働可能な年齢は年々上昇している。教育の改革(に関する論議)が方々で進められているが、原因は単純で、人口変動なのである。

●年年歳歳花相似 歳歳年年人不同(年年歳歳花相似たり 歳歳年年人同じからず)は唐の詩人劉季夷の「代悲白頭翁」の一節である。本号では、「人不同」を「人口不同」と読みたい。(中森眞理雄)

### オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 中森眞理雄(東京農工大学)

委員 池上敦子(成蹊大学), 大澤義明(筑波大学), 大村弘之(日本電信電話株), 岡田 勇(創価大学), 岡野裕之(日本アイ・ビー・エム株), 住田 潮(筑波大学), 高橋一喜(東京ガス株), 高橋彰子(株)NTT データ, 田村亮二(キヤノンシステムソリューションズ株), 土屋利明(日本電信電話株), 所 健一(勸電力中央研究所), 生田目崇(専修大学), 根本俊男(文教大学), 廣津信義(独日本スポーツ振興センター), 藤本 衡(東京電機大学), 松村良平(東京工業大学), 三浦英俊(明海大学), 村井雅彦(株)東芝

本誌に掲載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

## オペレーションズ・リサーチ

平成18年1月号 第51巻 第1号 通巻541号

代表者 今野 浩

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会  
東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル  
電話 03-3815-3351(代) FAX 03-3815-3352 〒113-0032  
<http://www.orsj.or.jp/>

編集人 中森 眞理雄

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151-0051

### ●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価 970円 (本体 924円) 年間予約購読料 11,040円 (税含)

●本誌への広告お申し込みは明報社 (3546-1337) へ